

## 府立高校の特色ある取組を紹介

全47校ある府立高校の中から、今回は6校をピックアップしてご紹介します。

### 鳥羽高校 平成29年4月 専門学科誕生



国立台中高級工業職業学校での活動

世界的な視野をもって活躍できるグローバル・リーダーの育成をめざす専門学科を設置します。国から指定を受けたSGH（スーパーグローバルハイスクール）での学びを深化させ、理系・文系ともに課題研究を行います。京都の価値を再発見し、諸外国におけるものの見方・考え方を学びながら、新たな価値の創造をめざします。海外でのインターンシップや研修など国内外の学術機関・企業等と連携した特色ある教育活動を展開します。

### 桃山高校 京都大学総長賞を受賞



京都大学サイエンスフェスティバルでの研究発表

昨年11月に第1回「京都大学サイエンスフェスティバル」(主催:京都大学)が開催されました。京都大学と連携協定を結んでいる京都府、京都市など12の都府県市から12校が出場し、各校で取り組んできた研究内容について発表しました。いずれの学校も日頃からレベルの高い探究活動に取り組んでいることに大学の教員からも驚きの声が寄せられるなか、本校の発表「バナナ果皮の“キリン化現象”からドーパミンの重合メカニズムをさぐる」が最優秀の京都大学総長賞を受賞しました。バナナの皮が斑点状に変化する現象に注目し、そのメカニズムを分子レベルで解明しようとした研究です。表彰式では、山極 壽一総長から「チャレンジングな内容で素晴らしい」と高い評価をいただきました。

本校の発表「バナナ果皮の“キリン化現象”からドーパミンの重合メカニズムをさぐる」が最優秀の京都大学総長賞を受賞しました。バナナの皮が斑点状に変化する現象に注目し、そのメカニズムを分子レベルで解明しようとした研究です。表彰式では、山極 壽一総長から「チャレンジングな内容で素晴らしい」と高い評価をいただきました。

### 南陽高校 京大生と共に地方創生について研究



ワールドカフェ方式での議論の様子

生徒会が京都大学生と協働し、京都府南部地域における地方創生について研究を進めています。昨年12月に開催したフォーラム「Winter Collaboration」京大×南陽 ～まちづくりをあなたと～」では、山下京都府副知事の『地域力再生の今後』と題した基調講演の後、地域の課題やその解決に向けた施策について、地域の方を交えてワールドカフェ\*方式で活発な議論を交わしました。

\*ワールドカフェ…参加者が4～5人の少人数に分かれ、ときどき他のテーブルとメンバーを入れ替えながら自由に議論する、ワークショップの一形式

### 北桑田高校 キャリア教育文部科学大臣表彰を受賞



かやぶき民家研修

地域のヒト・モノ・コトすべてが先生、すべてがキャンパスという発想で、地域の人たちと連携し、かやぶき民家研修、野菜の定植・収穫、鹿よけネット設置、しめ縄づくりなどの体験を通じて、地域を愛し人生を主体的に生き抜く力と態度を育成する「美山・京北まことキャンパス」を実施しています。その取組が評価され、平成27年度キャリア教育文部科学大臣表彰を受賞しました。

### 加悦谷高校 「まごころ・おせち料理」で高齢者におもてなし



高齢者と一緒におせちを味わう様子

昨年12月に地域の高齢者を手作りの「まごころ・おせち料理」でもてなしました。生徒たちは与謝野町の料理旅館「井筒屋」の板長から調理法を教わり、丹後ばら寿司、煮しめ、紅白なますなど7品を調理しました。高齢者の方からは「若い方々とお話ができて、元気をいっぱいいただき、明日への活力となりました」と、一足早いお正月気分を満喫していただきました。生徒たちも一緒におせちを食べながら、地域の高齢者の方々と素晴らしい交流の機会を持つことができました。

### 東舞鶴高校 ユネスコ世界記憶遺産登録に向けた「舞鶴の引揚」をテーマにした様々な活動



舞鶴引揚記念館での発表

昨年10月に舞鶴引揚記念館所蔵品がユネスコ世界記憶遺産に登録されました。本校では、平和の尊さを地元舞鶴から世界へ発信していくため、アメリカでの署名活動、語り部の方のお話をもとにした全国国際教育研究大会での発表、地域の小・中学校での活動報告会、引揚犬クロの紙芝居作成などの活動を行ってきました。今後も「舞鶴の引揚」をテーマに、平和についての考えを深め、様々な形でメッセージを発信する取組を続けていきます。

## 府立特別支援学校の取組

### 子どもたちの挑戦する姿を紹介します

幼稚部・小学部から高等部までの一貫したキャリア教育、職業教育を充実し、一人一人の希望進路の実現をめざしています。



中丹支援学校小学部 職業体験学習



宇治支援学校中学部 作業学習



八幡支援学校高等部 職場実習



城陽支援学校高等部 就労支援セミナー

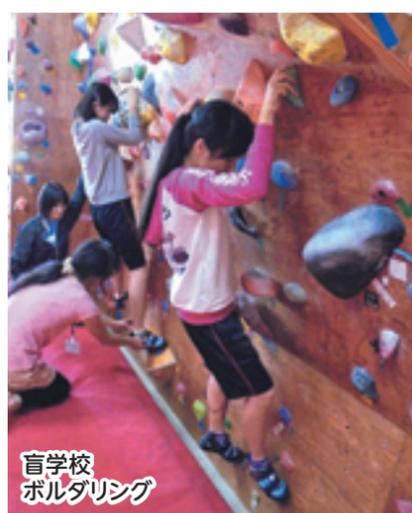
スポーツや文化活動などを通して、障害のある人もない人も共に生きる社会をめざしています。



蘆学校 地域の指導者による卓球指導



南山城支援学校 ボッチャ (ボールを転がし、目標からの距離を競うパラリンピック種目)



盲学校 ボッチャ



与謝の海支援学校 「海の京都博」太鼓演奏

# 今知って欲しい 非行防止・薬物乱用 根絶に向けた取組

学校や教育委員会では何をしていますの？



## 非行や薬物乱用について考える機会を提供する

- 小・中・高・特別支援学校で警察等と連携した非行防止教室や警察・学校薬剤師等と連携した薬物乱用防止教室を開催します。
- 薬物乱用防止教室の指導者となる教員や警察・学校薬剤師等を対象に効果的な指導方法について研修を行います。

## 子どもや家庭に寄り添い、問題が起こったときは早期に対応する

- スクールカウンセラーや「まなび・生活アドバイザー」を学校に配置し、子どもの生活上の問題や悩みの相談に応じて必要な支援を行うとともに、状況に応じて児童相談所や病院等の福祉関係機関と連携して問題解決を行います。
  - 学校や市町(組合)教育委員会、スクールサポーター\*や警察等が連携して問題の早期対応に取り組みます。
  - 個々の生徒の実態に応じたきめ細かな指導や学習支援を行うため、暴力行為の多発など大きな課題が生じている学校に緊急的に教員を配置します。
- \*スクールサポーター：警察官 OB が警察署と学校・地域のパイプ役として子どもの非行防止や安全確保対策に従事する。

家庭や地域では何をしていますの？



## 声かけや勉強会を行う

- 各教育局において非行防止フォーラムを開催し、社会総がかりで青少年の非行防止に取り組もうという機運を高めています。
- PTAによる「いじめ・非行防止キャンペーン」で、地域ぐるみの声かけ(あいさつ)・見守り運動が行われています。
- 保護者が薬物乱用の危険性について正しく認識するための様々な取組を行っています。



# 「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止教室

京都府の小・中・高校等では、子ども自身が薬物乱用のきっかけそのものを避け、きっかけとなる誘いを拒絶することができるように、薬物乱用防止教室を行っています。



高校生の大麻に関わる逮捕事件を受け、いち早く、学年毎に「薬物乱用根絶教室」を行いました。スクールサポーターの梅木 玄八氏の講演と、生徒・伏見警察署少年係員・学校職員が大麻の売人、大麻の誘惑に負けてしまう不良グループ、誘いをきっぱりと断る高校生等の役柄を扮した寸劇を行いました。薬物についてしっかり知識を付けることができ、生徒の記憶に残る「根絶教室」になりました。

## 講演から



京都府伏見警察署 スクールサポーター  
**梅木 玄八氏**  
◆プロフィール◆  
1971年警察官となる。主に薬物、暴力団捜査を担当。2013年退職、スクールサポーターとして現在に至る。63歳

薬物捜査を通じて、薬物中毒による幻覚、幻聴、被害妄想に襲われる多くの人を見てきました。薬物に手を染めると自分の意志だけではやめられなくなり、結果、自分の体をボロボロにするばかりでなく、家族や周囲の人の幸せも奪い去ります。きっかけは、知人に勧められ「自分だけは、大丈夫」などと軽い気持ちで手を出した人がほとんどです。薬物に対する正しい知識を持ち、「絶対にダメ」という強い意志と勇気で誘いを断りましょう。

## 受講した生徒の声

- 自分たちは劇からできたけど、これが現実だったらと思うと怖いんです。劇のようなことがないように、今、劇としてみんなに見せることが出来て良かったです。
- この劇を見て、薬物乱用が怖いということと、断ることが大切だということを知ってもらえたら嬉しいです。薬物乱用をゼロにして、嫌なニュースがなくなると嬉しいです。
- 周りに流されないように自分の意志をしっかり持たなくてはならないと思いました。
- 意外と身近な所で危険がたくさんあるのだと感じました。自分自身を傷付け、大切な周りの人たちまでも失うことになるので、薬物乱用は絶対にしてはいけないと強く思いました。

## シリーズ 人権

# 「それって本当？」 情報を読み解く力「メディアリテラシー」

インターネットの普及とともに、私たちはたくさんの情報を簡単に、瞬時に得られるようになりました。しかしながら、インターネット上にあふれている情報のすべてが、必ずしも事実をそのまま伝えているとは限りません。特にSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)上では、個人が簡単に情報を発信できるようになり、事実に基づかない個人的な意見や感想が、あたかも事実のように述べられていることもあります。また、人権問題に関わって、偏見や差別意識を助長するような情報も見られます。

このような、インターネット等のメディアから発信される情報を、そのまま受け取るのではなく、「別の見方はないだろうか」、「伝えられていない情報はないだろうか」と、様々な面から判断し、自ら読み解く力を「メディアリテラシー」と言います。これは、例えば自分の周りで聞くうわさ話などについても、適切に判断する上で、必要な力と言えるでしょう。

日々、絶え間なく発信される情報に流されるのではなく、「それって本当かな?」と思った時に、少し立ち止まって、別の視点から考えてみるのが大切です。そうして正しい理解に努めることが、誤解や偏見をなくし、人権を尊重する態度へとつながるのではないのでしょうか。



# 教育局の取組

## 山城地域の子どもの未来を みんなでHUG(はぐ)くむために!

山城教育局

いじめや非行などが社会問題になっている中、山城教育局では、社会総がかりで子どもたちをくむ環境づくりを進めています。

その取組の一つとして、PTA(育友会)など関係団体(60団体)が集い、「平成27年度やましろ未来っ子 みんなでHUG(はぐ)フォーラム(山城いじめ・非行防止フォーラム)」を開催しました。

(株)NIT情報技術推進ネットワークの篠原 嘉一氏の講演において、携帯電話・スマートフォンなどの利便性や危険性について学ぶとともに、山城地方の幼稚園・小・中・高校の各PTA団体から、スマートフォンなどの利用に伴う有害情報や生活習慣の乱れなどの弊害から子どもたちを守るため、「やましろ未来っ子 みんなでHUG宣言」がなされました。

学校・家庭・地域社会が連携した、子どもたちの健全な成長をめざす取組の輪が広がっています。



## 保護者のネットワークづくり

南丹教育局

南丹教育局では、子どもを豊かにくむ、子育ての悩みが解消できるように保護者同士をつなぐため、学校、保健福祉関係者、NPO法人などからなる「南丹地区子育て支援協議会」を設置して、家庭や地域の方々のネットワークづくりを支援しています。

毎年開催している「なんたん子育てフォーラム」では、子育て世代のニーズに合った多彩な分科会を開いています。

今年度は、「自己肯定感を高める前向き子育て」というテーマの全体講演の後、中学生と参加者の本音討論、親子や保護者同士で楽しめる「音楽」や「読書」など、子どもとの接し方、繋がり方を体験する分科会を開催しました。

参加者からは「他の保護者と交流できた」「子育てを見直すきっかけになった」「他の家庭や子どもの様子が聞けて参考になった」といった声が聞かれました。



「おとなも子どもも楽しむ音楽とリズム」分科会の様子

# 子どもと話し合っていますか？

家庭は、子どもが基本的な生活習慣を身につけるとともに、人に対する信頼や思いやり、自尊心や自立心、社会的マナーなどを身につける上で重要な役割を果たしています。

- いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを習慣にしている。
- 早寝早起きを心がけている。
- 学校での出来事などについて、子どもとよく話をしている。
- スマートフォンやゲームの使用時間などのルールを、親子で話し合って決めている。など

家庭は、子どもたちが最も身近に接する社会。常に子どもの心のよりどころとなるものです。少し立ち止まって、日常の生活を振り返ってみませんか。

参考：文部科学省作成 HP「子供たちの未来をはぐくむ 家庭教育」

## 子どものサインに気づいていますか？

例えば・・・

- ☑イライラしたりおどおどしたり落ち着きがなくなった。
- ☑急に無口になり、家族との会話を避けるようになった。
- ☑お金の使い方が荒くなり、使い道を言いたがらなくなった。
- ☑親しい友だちが急に来なくなったり、友だちに対する不満を口にするようになった。
- ☑買っていない物を持っている。
- ☑言葉遣いが悪くなったり、すぐかっとして暴力をふるったりするようになった。

子どもの行動には、何か理由があるはずです。日頃から子どもに対して「必ず守ってあげるから」という姿勢で、少しでも何かあったら話す習慣づけが大切です。

## 子どもにケータイ・スマホを持たせるなら ケータイ・スマホの利用について

### 家庭でルールづくりをしませんか？

<ルールの例>

- 1 一日の使用時間を決め、家族との時間を大切にします。
- 2 利用を終了する時間を決め、それ以降は自分の部屋へ持ち込まない。
- 3 食事中は使用しない。お風呂に持ち込まない。
- 4 写真・氏名・住所・電話番号など個人情報は、絶対にネット上に公開しない。
- 5 SNSなどで他人を傷つける行為は絶対にしない。
- 6 有料アプリや課金アイテム等の利用前に、必ず保護者に承諾を得る。
- 7 困ったときは、家族・友人・学校に相談する。

## あなたの悩みについて、一緒に解決の方向を考えましょう。

## ひとりで悩まないで!

### スクールカウンセラー

【相談内容】 不登校やいじめなど学校教育に関すること、発達に関すること、子育て・しつけなど家庭教育に関すること  
【相談対象者】 スクールカウンセラーを配置している学校に通う児童生徒やその保護者、学校関係者(スクールカウンセラーが配置されていない小学校については、近隣小学校のスクールカウンセラーに相談することができます。)  
【相談方法】 原則として、相談者が来校し校内のカウンセリングルームで面接による相談を行います。相談日や相談時間を決めておりますので、学校に連絡してください。

### 京都府総合教育センター・京都府総合教育センター北部研修所

【相談内容】 不登校やいじめなど学校教育に関すること、発達に関すること、子育て・しつけなど家庭教育に関すること  
【相談方法】 ◆24時間電話教育相談 ふれあい・すこやかテレフォン 075-612-3268 または 3301 0773-43-0390  
◆メール教育相談 (携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください) http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/soudan.htm  
あるいは、メール教育相談 京都 で検索してください。

◆来所教育相談 京都府総合教育センターまたは京都府総合教育センター北部研修所まで直接来所いただいで相談できます。くわしいことは電話でお問い合わせください。(ふれあい・すこやかテレフォンへ)  
◆巡回教育相談 お住まいの近くの教育局などにカウンセラーが向きます。月に1~2回、決まった曜日・時間の相談となります。くわしいことは電話でお問い合わせください。(ふれあい・すこやかテレフォンへ)  
◆体罰専用相談電話 ○開館時間 毎週水曜日 11:30~18:30 ○電話番号 075-612-5013

### 京都府精神保健福祉総合センター

【相談内容】 こころの健康に関すること  
【相談方法】 下記の相談窓口で、電話や面接による相談ができます。  
◆こころの健康相談電話 京都府内を除く京都府域にお住まいの方 075-645-5155(月~金 祝日・年末年始除く9:00~12:00, 13:00~16:00)  
※京都府内にお住まいの方は 京都市こころの健康増進センター へ 075-314-0874(月~金 祝日・年末年始除く9:00~12:00, 13:00~16:00)

### 府立特別支援学校 地域支援センター

【相談内容】 子どもの発達や障害に関すること  
【相談方法】 各府立学校に設置している地域支援センターで、電話や面接による相談ができます。京都府スーパーサポートセンター 0774-41-3703(直通電話)  
盲学校(幼・小・中) 075-492-6733 南山城支援学校 0774-72-7255  
(高) 075-462-5083 丹波支援学校 0771-42-5185  
舞鶴学校 075-461-8121 中丹支援学校 0773-32-0011  
舞鶴分校 0773-75-1094 舞鶴支援学校 0773-78-3133  
向日が丘支援学校 075-951-8361 行永分校 0773-63-6700  
宇治支援学校 0774-41-3701 ※北吸分校 0773-64-3990  
城陽支援学校 0774-53-7100 与謝の海支援学校 0772-46-2770  
八幡支援学校 075-982-7321  
※平成28年4月以降は、北吸分校が移転しますので、舞鶴支援学校へお問い合わせください。

### 京都府家庭支援センター

【相談内容】 少年非行、ひきこもり、児童虐待、配偶者からの暴力(DV)、知的・身体障害など様々な悩みごと  
【相談方法】 下記の相談窓口で、電話や面接による相談ができます。  
◆京都府家庭支援総合センター 総合相談 075-531-9600  
こども虐待専用電話 075-531-9900  
DV相談専用電話 075-531-9910  
ひきこもり相談・チーム絆専用電話 075-531-5255  
ひきこもりインターネット相談 http://www.kyoto-hikikomori-net.jp/  
◆京都府南部家庭支援センター(宇治児童相談所) 総合相談 0774-44-3340  
DV相談専用電話 0774-43-9911  
◆宇治児童相談所京田辺支所 0774-68-5520  
◆京都府北部家庭支援センター(福知山児童相談所) 総合相談 0773-22-3623  
DV相談専用電話 0773-22-9911

### 少年サポートセンター(京都府警察本部少年課)

【相談内容】 非行問題や犯罪被害等に関すること  
【相談方法】 ◆電話相談 ヤングテレホン 075-551-7500(24時間受付)  
◆メール相談 パソコンから http://www.pref.kyoto.jp/fukei/ 携帯から http://www.kyotofukei-syonen.jp/i

# 教育委員の活動 — 皆さんの声をいかした教育を推進します —



昨年12月1日(火)、宮津市立府中小学校6年生が「TANGO魅力伝え隊」として学校に隣接する「籠神社」の境内を舞台にした歴史ガイドを行う様子を視察した後、児童や地域の方々と意見交換を行いました。

歴史ガイドでは、自分たちで描いたスケッチを示しながら、「天橋立のひみつ」について一生懸命分かりやすく説明してくれました。

意見交換では、10月に開催された「丹後きものまつり」で、実際に観光客にガイドを行った時の嬉しかったこと、苦労したことなどの経験を語ってくれました。



## 教育委員の意見

●自分たちの郷土の歴史や文化に興味・誇りを持つことは大変重要なことです。地球規模的な視野に立つことはもちろんですが、まず自分の身近なことを知ることにさらに大切だと考えます。(冷泉委員)

●地域の方々と一緒に、郷土の歴史や伝統行事を守り、受け継いでいこう取り組んでいることが素晴らしいと感じました。(平塚委員)

●教科学習だけでは得られない「協調性」「意欲」が育つ学習こそ、生きる力へと繋がると考えます。地域に根ざした多様な丹後地域の取組に今後も期待します。(安藤委員)

## 面白い! 子どもの知的好奇心をもっと学びたい! くすぐる体験事業

京都大学等と連携し、子どもたちの学習に対する興味・関心を喚起し、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとするための取組を行っています。

### 「光る分子の合成と働き」を学ぶ 出前授業を実施

#### 講師

京都大学 山本 行男名誉教授及び  
同大学技術職員

#### 内容

城陽市立西城陽中学校の第2学年が、理科の授業で、それぞれの物体が持つ光の波長やエネルギーの大きさ、蛍光を発する色素の分子の状態などについて講義を受けた後、日常で使用する蛍光ペンや日焼け止め、洗剤などをUVランプで確認し、炎色反応を観察しました。

さらに、普段の授業では使用しない薬品を一人ひとりが実際に手にとって実験を体験することで、学習を深めました。

生徒たちからは納得と驚きの声が上がリ、「自分たちが持ってきたものや書いたものを使って自分自身で実験することで興味がよりわいたし、楽しかった」と、自ら調べることを楽しんでいました。



### ワクワク・ドキドキおもしろ科学体験 4次元デジタル宇宙シアターを開催

#### 講師

京都大学 大野 照文教授、喜多 一教授、  
同大学教員及び学生

#### 内容

アグリセンター大宮と野田川わーくぱるを会場に科学や宇宙の不思議や感動を味わう教室を実施しました。

小中学生を対象に、「三葉虫の消しゴムを作ろう」と「コンピューターを使って物を動かそう」という2つの「科学教室」、3Dメガネをかけて4次元宇宙旅行を体験する「4次元デジタル宇宙シアター」、「組みひも多面体」や「錯視」など12の「科学体験ブース」を設けました。

参加した子どもたちは、「学校の授業では学べないことを学べてよかった。三葉虫のような昔の生き物をもっと調べてみたい」「宇宙がとても広いことが分かって興味がわいた。他にもどんな星があるのか知りたい」など感想を話していました。



## シリーズ文化財

### 国指定史跡 恭仁宮跡(山城国分寺跡)の発掘調査

#### 恭仁宮跡とは?

恭仁宮跡は、木津川市加茂町に造られた奈良時代の都跡です。

日本古代史を理解する上で重要な大規模遺跡であることから、昭和48年度から継続的に発掘調査を行っています。



宝幢(幢旗)・朝堂院南門復元イメージ

#### 何が見つかったの?

平成27年度に朝堂院地区\*1で行った発掘調査では、宝幢(幢旗)遺構が見つかりました(イメージ画)。

奈良時代の歴史書『続日本紀』の記述から、天平13(741)・14(742)年に行われた元日朝賀\*2において、儀式の場を荘麗に飾る目的で立てられた旗竿と考えられ、発掘調査で見つかった日本最古の正月行事に関する遺構です。

\*1 朝堂院地区:高官が執務や儀式を行う当時の政治の中心となる場所  
\*2 元日朝賀:天皇が臣下から祝賀を受ける儀式

#### 詳しく知りたい場合、どこに行ったらいいの?

府立山城郷土資料館に瓦や模型など様々なものを展示しています。

▶▶アクセスはこちら▶▶



- JR奈良線「上狛駅」下車徒歩20分
- JR関西線・学研都市線「木津駅」下車タクシー5分
- 近鉄京都線「山田川駅」下車タクシー10分
- 国道24、163号線「上狛四丁」交差点を東に1.5km 無料駐車場(乗用車15台、バス3台)があります。

## 京都府高校生等 修学支援事業のお知らせ

経済的理由により修学が困難な高校生に対する修学資金の貸付をしています。

事業内容については、各高等学校を通じてご案内します。

京都府教育庁高校教育課 修学支援担当

お問い合わせ先

電話: **075-574-7518**

住所: 京都市伏見区桃山毛利長門西町  
(京都府総合教育センター内)